

## 5. 刊行物・出版物

当財団では、旅行・観光に関する各種刊行物・出版物を発刊してきた。

### 1 刊行物

<p>旅行年報 (1981年～)</p> <p>旅行の現状と見通し (1978～1980年)</p>	<p>1978年、改組15周年事業の一環として「旅行の現状と見通し」を創刊。1981年から「旅行年報」として刷新。 直近1年間の旅行・観光市場にまつわるあらゆる出来事について、多くのデータ・資料をもとに分析。</p>	
<p>旅行者動向 (2000～2013年)</p>	<p>1998年より毎年実施してきた「旅行者動向調査」を基に、旅行の実態や旅行者の意識について様々な切り口で分析。 旅行・観光関連の政策立案や事業展開などに幅広く活用していただけるマーケティングデータ集として、2000年より2013年まで発行。</p>	
<p>Market Insight 日本人海外旅行市場の動向 (日本語版2006～2013年) (英語版2009～2013年)</p>	<p>日本人海外旅行マーケットの構造的な変化とその要因を詳細に解説したレポート。最新市場動向をカバー。独自調査を基に、変化の下に働く中・長期的ダイナミズムを明らかにしている。</p>	
<p>自主研究レポート (2003年～)</p>	<p>自主事業の一環として取り組んでいる自主研究の成果を取りまとめた冊子。併せて研修事業(セミナー、シンポジウム等)や出版・広報の概要についても紹介。</p>	
<p>シンポジウム採録集 (2008～2011年)</p>	<p>旅行動向シンポジウム、海外旅行動向シンポジウムに招いた有識者、著名人、研究者等による講演等を編集。</p>	
<p>観光実践講座講義録 (2007～2013年)</p>	<p>観光実践講座に招いた観光地づくりの実践者、地域のリーダー、キーパーソンの現場における体験に基づいた実践的な考え方やノウハウについての講演を掲載。</p>	

<p>日本の温泉地を元気にする 「温泉まちづくりの課題と解決策」 ～提言集～ (2011年)</p>	<p>温泉まちづくり研究会で議論された、これからの温泉地の進むべき方向について具体的な5つの提言（入湯税の有効活用、環境負荷の少ない温泉地づくり、歩いて楽しい温泉地、観光まちづくり組織と指定管理者制度、温泉地における食の魅力づくり等）として取りまとめている。</p> <p>発行：温泉まちづくり研究会 (事務局：公益財団法人日本交通公社)</p>	
<p>温泉まちづくり 温泉まちづくり研究会 ディスカッション記録 (2011年、2012年)</p>	<p>「震災を契機に求められる、温泉地の社会的価値（意味）」 「日本の温泉地・旅館は長期滞在に対応できるのか、対応すべきか?」「第2次おひとりさまブーム」に温泉地・旅館はどのように対応すべきか?」「温泉を離れて考える、温泉地の観光的魅力」「今後の温泉地・温泉旅館の価値」等について、温泉まちづくり研究会で議論された内容を分かりやすく記録した一冊。</p> <p>発行：温泉まちづくり研究会 (事務局：公益財団法人日本交通公社)</p>	
<p>観光経済レポート (2003～2008年)</p> <p>旅行・観光地動向ファイル (2000～2003年)</p> <p>季刊旅行動向 (1985～2000年)</p> <p>旅行動向季報 (1978～1985年)</p> <p>旅行の動向 (1974～1978年)</p>	<p>1974年に改組10周年事業の一環として、「旅行の動向」を創刊。以降刷新をしながら「観光経済レポート」として2008年まで刊行。</p> <p>「観光経済レポート」は全国1,800自治体への「観光地動向調査」、2,000軒の宿泊施設を対象とした「宿泊客動向調査」を実施し、年に4回、国内観光市場の動向をとりまとめたもの。現地取材やデータ分析によるトピックスレポートも掲載した。</p>	
<p>旅行の見通し (1988～2007年)</p>	<p>旅行者動向の趨勢を把握することを目的に実施した「有識者に聞く旅行マーケットの動向見通しアンケート」を分析したもの。ツーリズム産業を代表する方や有識者100人以上から回答をいただいた。</p>	
<p>JTBレポート (1989～2001年)</p>	<p>日本人の海外旅行に関する分析。2002年以降は(株)ツーリズム・マーケティング研究所(現(株)JTB総合研究所)に移管。</p>	
<p>JTB宿泊白書 (1998～2001年)</p>	<p>JTBのデータを基に、地域・温泉地ごとのマーケットデータを分析。2002年以降は(株)ツーリズム・マーケティング研究所(現(株)JTB総合研究所)に移管。</p>	

## 2 出版物（発行・著作・監修）

<p>現代観光用語事典 (1984年)</p> <p>観光事典 (1973年)</p>	<p>『観光事典』は改組10周年事業の一環として出版し、その後改組20周年を機に、『観光事典』を全面的に増補・改訂した『現代観光用語事典』を出版。 観光関係の各業界で仕事をしていくために必要な幅広い知識を、用語ごとに分かりやすくまとめた。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>余暇社会の旅 (1974年)</p>	<p>改組10周年事業の一環として非公開で開催された著名人によるシンポジウム内容を収録したもの。鈴木忠義（当時当財団専門委員）をコーディネーターとして、磯崎新、茅陽一、小松左京、富永健一、西丸震哉、米山俊直といった各界新進気鋭の論者が観光について論じた。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>旅行業界 (1978年初版)</p>	<p>旅行業界を目指す若い人々、業界の現場で働く人々、そして旅行業界を外から概観しようとする人々を読者層に想定し、我が国の旅行業の現状を取りまとめたもの。財団法人日本交通公社の調査部のスタッフを中心に執筆。</p> <p>主な編著者：土井厚、柳井乃武夫、 皆川慎吾（財団法人日本交通公社）</p> <p>発行：教育社</p>	
<p>観光の現状と課題 (1979年)</p>	<p>改組15周年事業の一環として、当財団が実施してきた調査研究の蓄積を世に問うことを目的に、我が国における観光の現状と抱える課題についてまとめた一冊。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>観光ビジネスの手引き ～地域文化活性化の業務指針～ (1986年)</p>	<p>旅心、遊び心を満たすための30講。宿泊業、レクリエーション施設業、旅行業、輸送業等関連産業や地方自治体が、地域の観光資源、地場産業、農林漁業などを生かして観光活性化・地域振興を進める方策を示す。</p> <p>発行：東洋経済新報社</p>	
<p>観光読本 (1994年、2004年改訂)</p>	<p>改組30周年事業の一環として刊行。観光全般について広く基本的な事項を網羅した概論と、当財団研究員による分析・提言をまとめた書籍。初めて観光分野に従事されている自治体の担当者や旅行業界に従事されている人、観光を学ぶ学生など向けの入門書。</p> <p>編著：財団法人日本交通公社 発行：東洋経済新報社</p>	

<p>日本交通公社 観光文化資料館 二十年史 (1998年)</p>	<p>観光文化資料館（現旅の図書館）の開館20年を記念して発行。蔵書、利用者動向とともに、歴代館長の回顧録等、図書館運営の足跡を掲載。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社 観光文化資料館</p>	
<p>美しき日本～いちどは訪れたい日本の観光資源 (日本語版1999年、英語・中国語・韓国語版2000年)</p>	<p>日本人および日本を訪れた外国人に、一度は訪れてほしい我が国の観光資源391か所を美しい写真と解説文で紹介。1971～1973年に実施した「観光資源調査」の集大成的な写真集。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>21世紀旅館経営の課題 (2002年)</p>	<p>これまでの旅館と温泉街・観光地、旅館と旅行業の関係について見直し、これからの旅館が生き残る道について提案した一冊。</p> <p>企画編集：財団法人日本交通公社 発行：21世紀の旅館ホテルを考える会</p>	
<p>THE PATH TO FREEDOM ~Japanese Help for Jewish Refugees (2002年)</p>	<p>第2次世界大戦中、ユダヤ難民移送を支えたJTB職員の記録。当財団機関誌『観光文化』150・151号に収録された「記録 ユダヤ難民に“自由への道”をひらいた人々」の英訳書。</p> <p>著者：伊藤明 発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>実践講座インタープリテーション (2002年)</p> <p>自然ガイドのための おもしろヒントブック (2002年)</p>	<p>インタープリテーション(自然ガイド)実践者向けの参考書。楽しいツアーづくりのためのプログラム開発方法やメッセージを伝えるテクニックを、豊富な実例とともに解説。ヒントブックは自然ガイドツアー・プログラムづくりのための素材集。</p> <p>監修：国土交通省観光部 発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>エコツーリズム教本～先進国オーストラリアに学ぶ実践ガイド (2002年)</p>	<p>スー・ビートン女史による「ECO TOURISM: A PRACTICAL GUIDE FOR RURAL COMMUNITIES」(1998年)の翻訳書。オーストラリアやニュージーランドで実際に行われている実践例や研究結果を併用しながら、エコツーリズムの持ついろいろな側面を分かりやすく網羅的に解説。</p> <p>監訳：小林英俊(財団法人日本交通公社) 発行：平凡社</p>	

<p>都市観光でまちづくり (2003年)</p>	<p>「都市観光を創る会」での議論をまとめた、都市観光推進の入門書。都市観光成功の秘訣である「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」に向けた取り組み事例も紹介。</p> <p>編集：都市観光でまちづくり編集委員会 発行：学芸出版社</p>	
<p>魅せる農村景観～デザイン手法と 観光活用へのヒント (2004年)</p>	<p>農村景観を観光活用するための基本的な考え方を、全国の事例を紹介しながら分かりやすくまとめた手引書。</p> <p>監修：佐藤誠 編集：財団法人日本交通公社 発行：ぎょうせい</p>	
<p>エコツーリズム さあ、はじめよう! (2004年)</p>	<p>エコツーリズムとは何か、推進の手順とその重要なカギとなるルールとガイダンスとは、そして地域資源の保全と持続的利用を可能とする資源管理のあり方などをまとめた、エコツーリズムを推進する方に向けた手引書。2003年に設置された「エコツーリズム推進会議」（議長：小池百合子環境大臣）での議論を環境省と当財団が編集。</p> <p>編集：環境省、財団法人日本交通公社 発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>自然保護とサステイナブル・ ツーリズム (2005年)</p>	<p>IUCN（国際自然保護連合）の「Sustainable Tourism in Protected Areas」の翻訳書。国立公園などの自然保護地域におけるツーリズムと資源保全のあり方、利用と保全をめぐるサステイナビリティをどのように実現させていくか、各国の先進事例に学びつつ、具体的なガイドラインを示す。</p> <p>監訳：小林英俊（財団法人日本交通公社） 発行：平凡社</p>	
<p>魅力ある自然ガイドツアー づくりの手引き (2005年)</p>	<p>自然ガイド（インタープリテーション）ツアーを地域で具体的にどのように進めていくのか、地域の実情に応じて解説。ツアー体験者の「生の声」も多数収録、参加者の満足度も重視した内容。</p> <p>監修：国土交通省総合政策局 発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>産業観光への取り組み (2007年)</p>	<p>全国の地域活性化や観光に関わる人々、商工業者、自治体、NPO等から注目されている「産業観光」への取り組みと「着地型旅行商品（地域の側でつくる旅行商品）」について、産業観光先進地（国内20事例、海外3事例）を例に、多くの写真とともに分かりやすく体系的に紹介するとともに、さらに今後のあり方、取り組み方について紹介した本。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	

<p>温泉地再生 地域の知恵が魅力を紡ぐ (2008年)</p>	<p>温泉ブームの中にありながら苦戦が続く温泉地が、どのようにすれば再び憧れの地になるのか、現場で活性化に取り組む人々の目線から探り、具体的な行動のためのヒントや知恵をまとめた一冊。</p> <p>著者：久保田美穂子（財団法人日本交通公社） 発行：学芸出版社</p>	
<p>観光まちづくり まち自慢からはじまる 地域マネジメント (2009年)</p>	<p>東京大学西村研究室（西村幸夫教授）と財団法人日本交通公社が共同で執筆。 まちづくりから見た観光、観光から見たまちづくりの双方の視点から、具体的な事例を踏まえて「観光まちづくり」とは何かを解説する。</p> <p>編集協力：財団法人日本交通公社 発行：学芸出版社</p>	
<p>コミュニティ・ベースド・ ツーリズム研究 ～世界の実践事例に学ぶ成功の鍵 (2010年)</p>	<p>観光を本当の意味で地域にとってプラスのものとしていくためには、様々な課題が存在している。地域コミュニティが主体的にどのように観光と関わっていくことができるか、という観点から、中国貴州省、ブータン王国、ニュージーランドのマオリによる観光を対象に取り組んだ研究をまとめた一冊。</p> <p>発行：財団法人日本交通公社</p>	
<p>地域の“とがった”に学ぶ インバウンド推進のツボ② (2012年)</p> <p>地域の“とがった”に学ぶ インバウンド推進のツボ (2011年)</p>	<p>インバウンドの促進に取り組む特徴の異なる地域の“とがった”事例を紹介することで、地域によるインバウンド推進の“ツボ”を明らかにしようと試みた一冊。第2弾では「資源の見つけ方や活かし方」に関する“とがった”を中心に取り上げている。</p> <p>発行：公益財団法人日本交通公社</p>	
<p>観光地経営の視点と実践 (2013年)</p>	<p>調査研究機関化（改組）50周年事業の一環として刊行。これまで培ってきた知見を「観光地経営」という視点で整理し、観光地づくりの研究者あるいは実践者の方々のバイブルとなることを意図した一冊。</p> <p>編著：公益財団法人日本交通公社 発行：丸善出版</p>	